【大きな横浜のための、大きな植木鉢】

グランモール公園一帯は、大きな道、大きな街区、大きな建物が特徴的なエリアで、
ゆとりのあるスケール感が魅力の街です。
周辺には横浜美術館、大さん橋、横浜赤レンガ倉庫、その他ショッピングモールなどがあり、横浜観光の中心的な場所です。
ここに、横浜の魅力を体感できるような、ストリートファーニチャーをつくりたいと考えました。

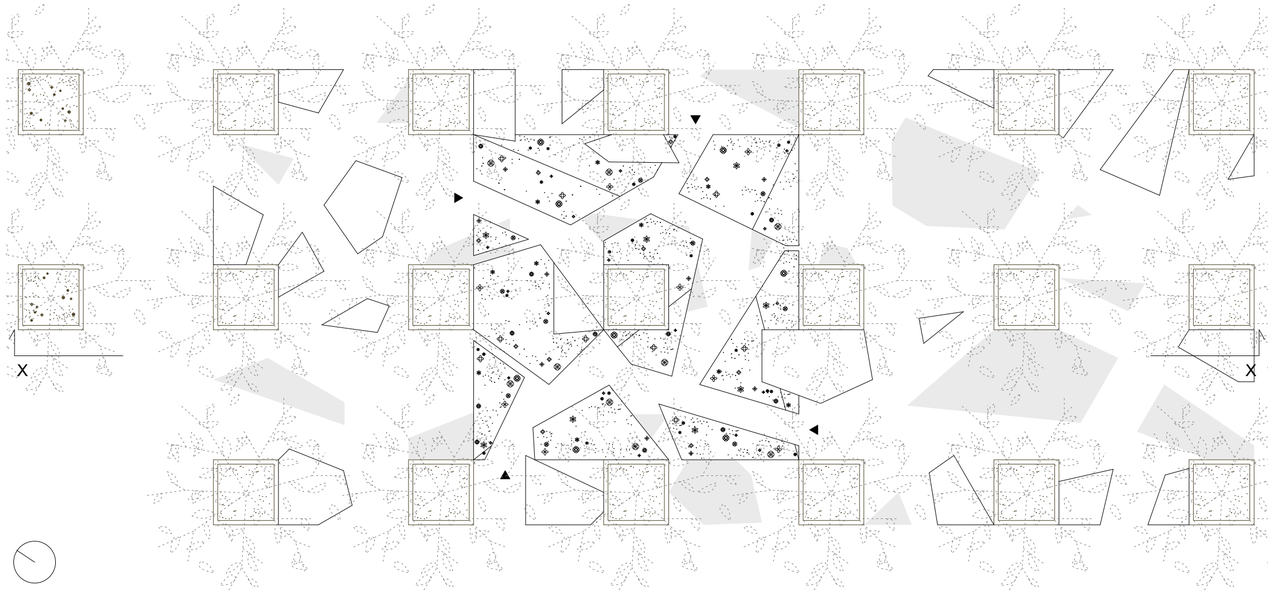
「スリバチ状の大きな植木鉢の中を、小さな動物になった気分で歩く」

グランモール公園、横浜美術館前の大きな木々が植わる一画の中央に、スリバチ状の大きな植木鉢を置きます。
この大きな植木鉢は、外から見ると大きな土のかたまりの様ですが、
中には人ひとりが通れる程度の道が空けられていて、四方それぞれから中に入ることができます。

土の壁に挟まれた細い道を進むと、
広場のように開けた場所や、小さなくぼみを利用してつくられた巣のようなスペースに繋がっていきます。
スリバチの中央からぐるっと周囲の植物を目線の高さから真近で眺めたり、
中に取り込まれた既設の石型ベンチに座ったり寝転がったり、
それはまるで小さな動物になって土の中から”大きな世界”をみるような、そんな体験です。

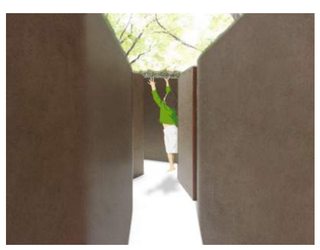
改めて横浜のまちを歩いてみる、周辺に広がる横浜の街の独特なスケール感を味わうようにして。
このストリートファーニチャーは、横浜の魅力を体感するための「スイッチ」の役割を担い、
「小さな動物になった気分で街を行く」というストーリーを横浜の街に挿入します。

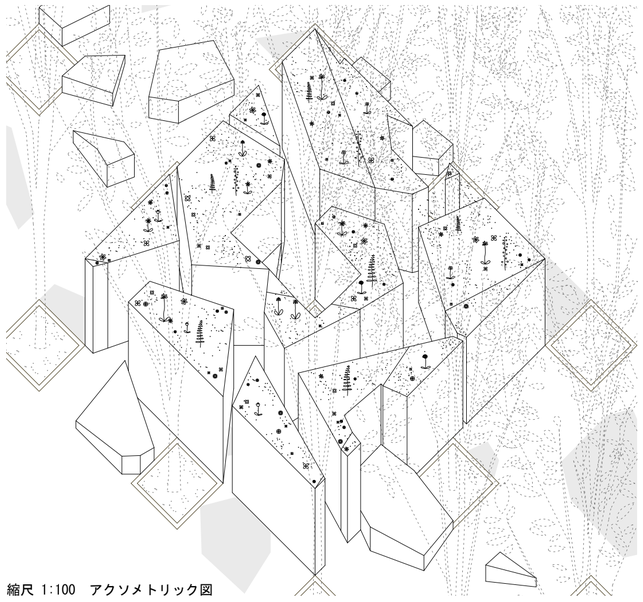
敷地周辺は街区や道が大きくつくられ、横浜ランドマークタワー、大さん橋などの大規模建造物が多く存在する
これらは観光名所とも重なり、横浜の街に大きくゆとりのある独特なスケール感、”横浜らしさ”をつくり出す



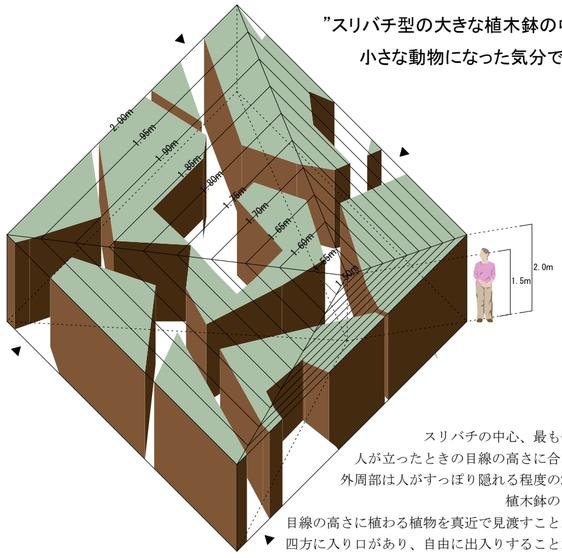
横浜美術館前の大きな木々が植わるエリアの中央に、既設の石型ベンチと大きさ・形状を合わせるようにして正方形を分割してつくられた、大きな植木鉢を置く

縮尺 1:100　配置平面図



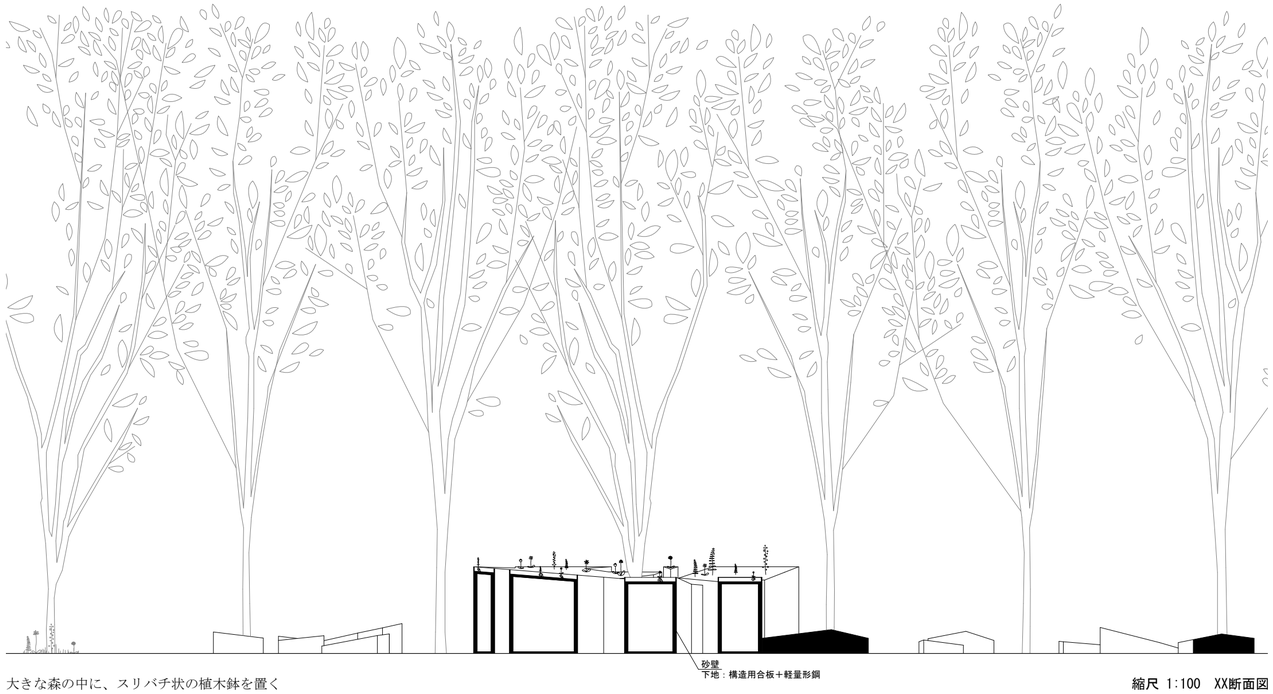


縮尺 1:100　アクソメトリック図



”スリバチ型の大きな植木鉢の中を
小さな動物になった気分で歩く”

スリバチの中心、最も低い部分は
人が立ったときの目線の高さに合わせて1.5m
外周部は人がすっぽり隠れる程度の2.0mに設定
植木鉢の中に入ると
目線の高さに植わる植物を真近で見渡すことができます
四方に入り口があり、自由に出入りすることが出来ます
小さな動物になったような気分で散策するための植木鉢です



大きな森の中に、スリバチ状の植木鉢を置く

縮尺 1:100　XX断面図